

クレジットカードによる公金の支払いについて



たけべ すみお
 竹部 澄雄
 議員

質問 過去2回、一般質問で「クレジットカードによる公金の支払い」についての質問があり、執行部と村長は、「導入に関して検討の余地がある」と回答してから4年が経過しているが、「クレジットカードによる公金の支払い」についての検討結果は。

答弁 (総務部長) 本年8月に収納課で土浦税務署管内14市町の調査を行ったところ、6市で導入済みとなっていた。対象税目は、軽自動車税のみや、複数の税等を対象としている市など、ばらつきがあっ

た。本村における滞納繰越分の整理状況はここ数年で大きく改善されているが、今後の課題は、現年度の収納率をどのように向上させるかという段階にきている。そこで平成29年4月からのクレジットカードによる収納の導入をめざし、事業者との協議を開始している。納税者が支払う費用については、現在、多くの市町村で採用されている、村が50円を負担し、残りを納税者が負担する形となり、コンビニ収納と同様になる。対象税目は、村県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育所・幼稚園利用者負担金、上下水道使用料を予定している。

質問 村長は、平成25年度課税分に関して、収納率が98%

から99%に上がっていると回答しているが、その後も同様にこの収納率を確保しているのか。

答弁 (総務部長) 村県民税、固定資産税、軽自動車税の3税とも年々向上している。



物産館について

質問 平成29年3月にオープンする物産館では、美浦村産の農産物だけを販売するのか、また、来館者が物産館に来ることが楽しくなるような構想は考えているのか。

答弁 (経済建設部長) 村内

の出荷者だけでは、直売所のブースが埋まることは非常に難しい状況なので、県内の特産物や美浦村と交流のある町村の物産品、JRAグッズ、村内企業と交流のある市町村の物産品も販売に繋げていければと考える。また、毎月イベントを開催し、団体それぞれの特産品の交流を加速させ、販売類の増加と地域交流館の活性化に向けて進めていきたい。

質問 物産館の清掃は、屋内だけを清掃委託するのか、屋外の清掃はどうするのか。

答弁 (経済建設部長) 館内は年に3、4回の床等のワックスかけを業者委託し、毎日の清掃等はシルバー人材センターへの委託を考えている。屋外については、担当職員が清掃し、共用部分については(株)カスミ美浦店と共同で清掃したいと考えている。